

十二編

十二編

~ 13  
3750  
22



門へ13  
3750  
巻 22

水

め

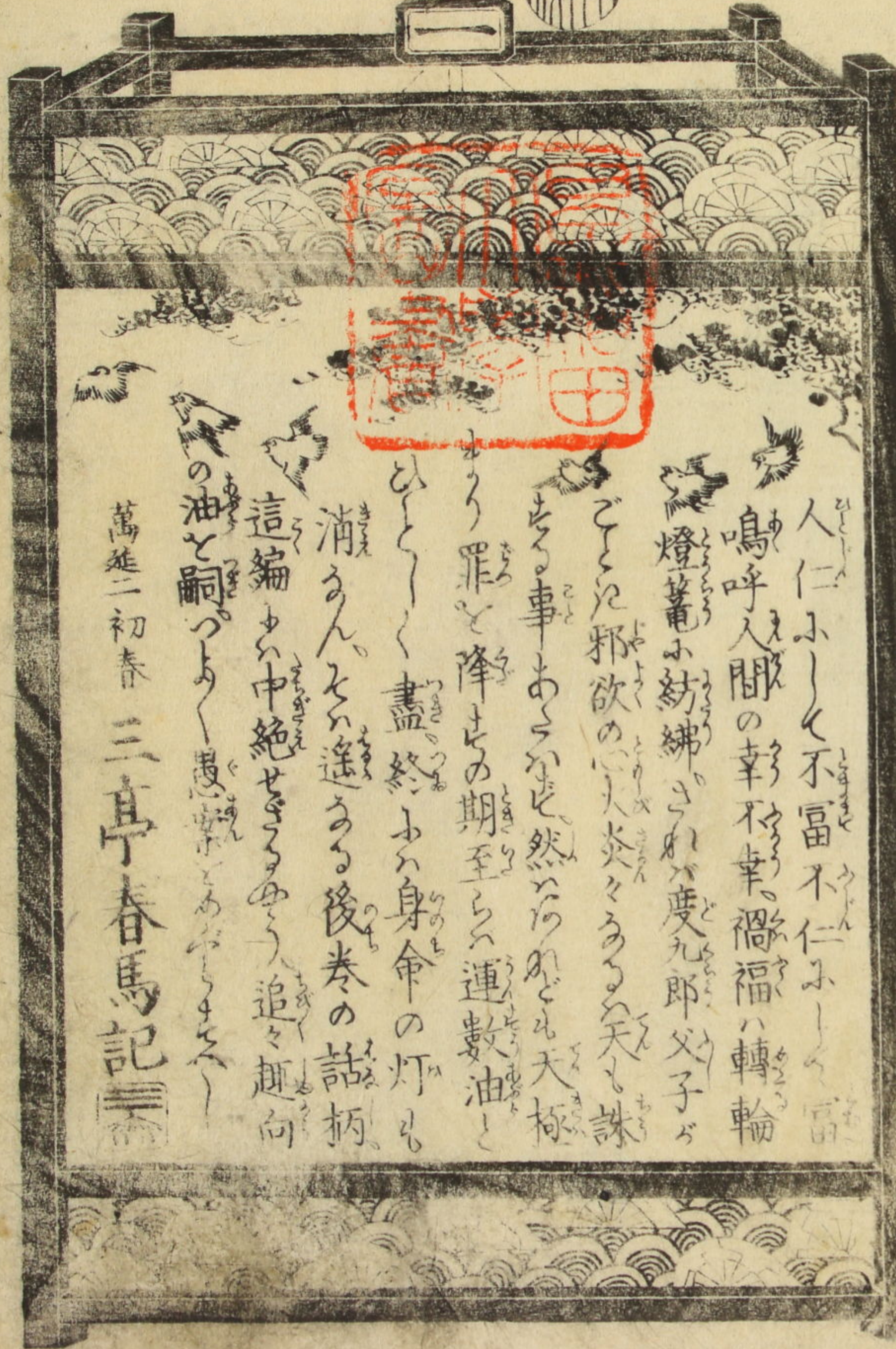
よ

十二卷

こ

新編楊梅園

松英堂梓



人仁ふしく不富不仁ふしく富  
嗚呼人脚の幸不幸禍福ハ轉輪  
燈籠ふ紡緋さね度九郎父子ガ  
ごころ邪欲の心大炎々ある天も誅  
さる事あさふだ然らぬと天極  
さる罪と降よの期至らぬ運數油と  
ひくく盡終ふ身命の灯も  
消るんその途ある後卷の話柄  
這編の中絶せざるや追々趣向  
の油と嗣つよく愚業とめらるる

萬延二初春 三亭春馬記



越後國  
廣瀬谷の庄  
霜七の兄  
大太郎



曲五國包

室の津遊君玉苗



志度六

曲五國



如車十一

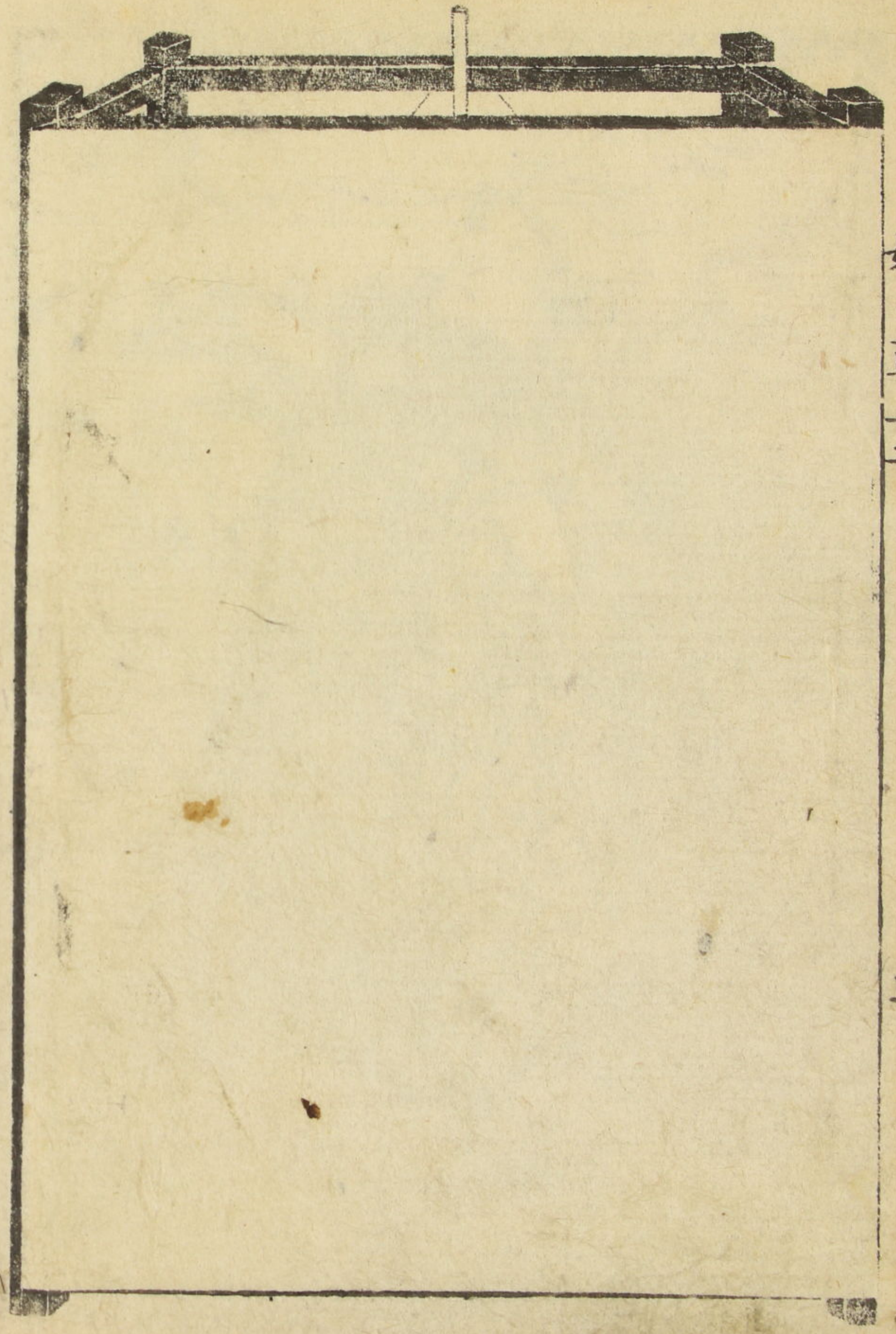
魔度六

十一  
時辰  
...

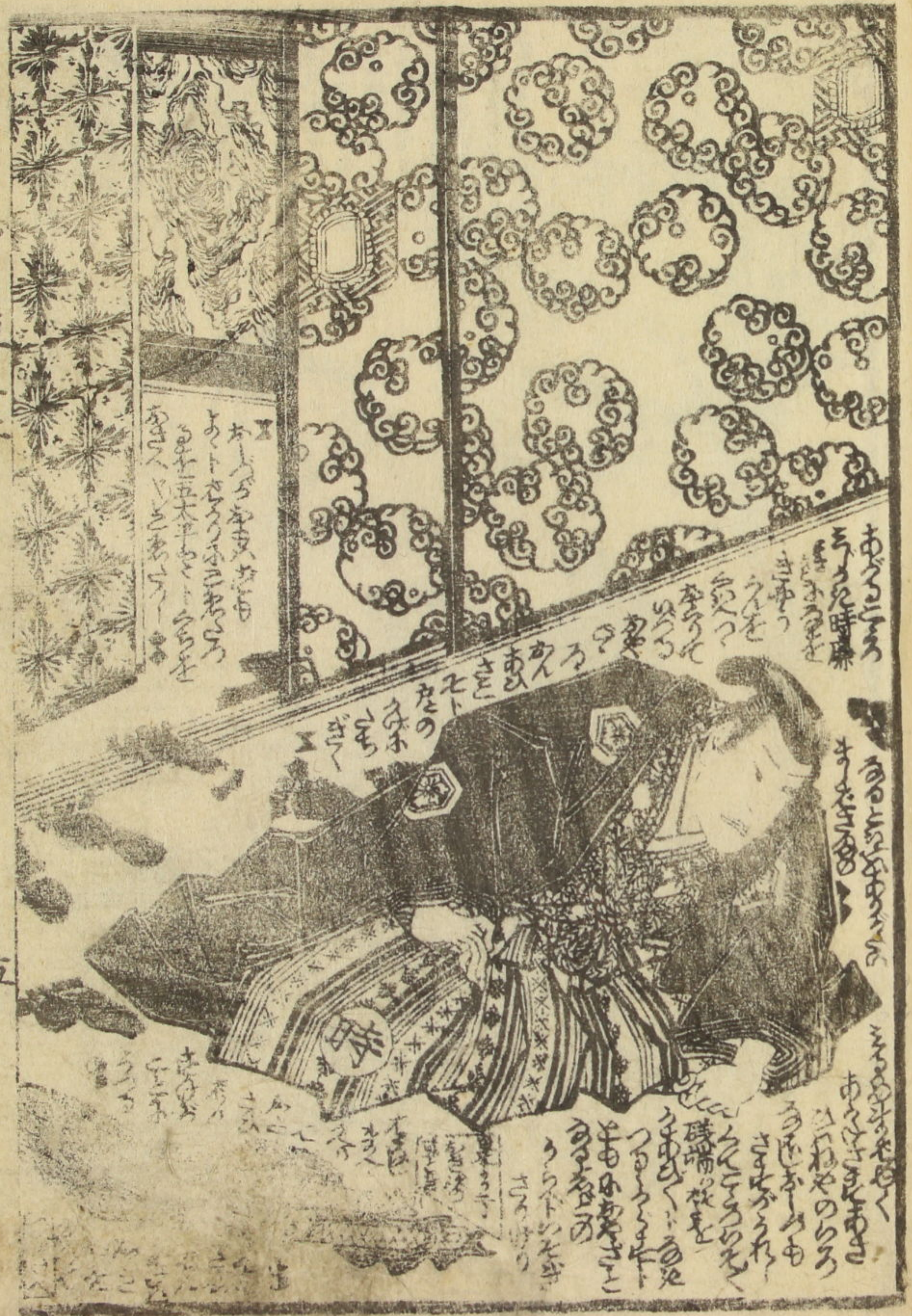
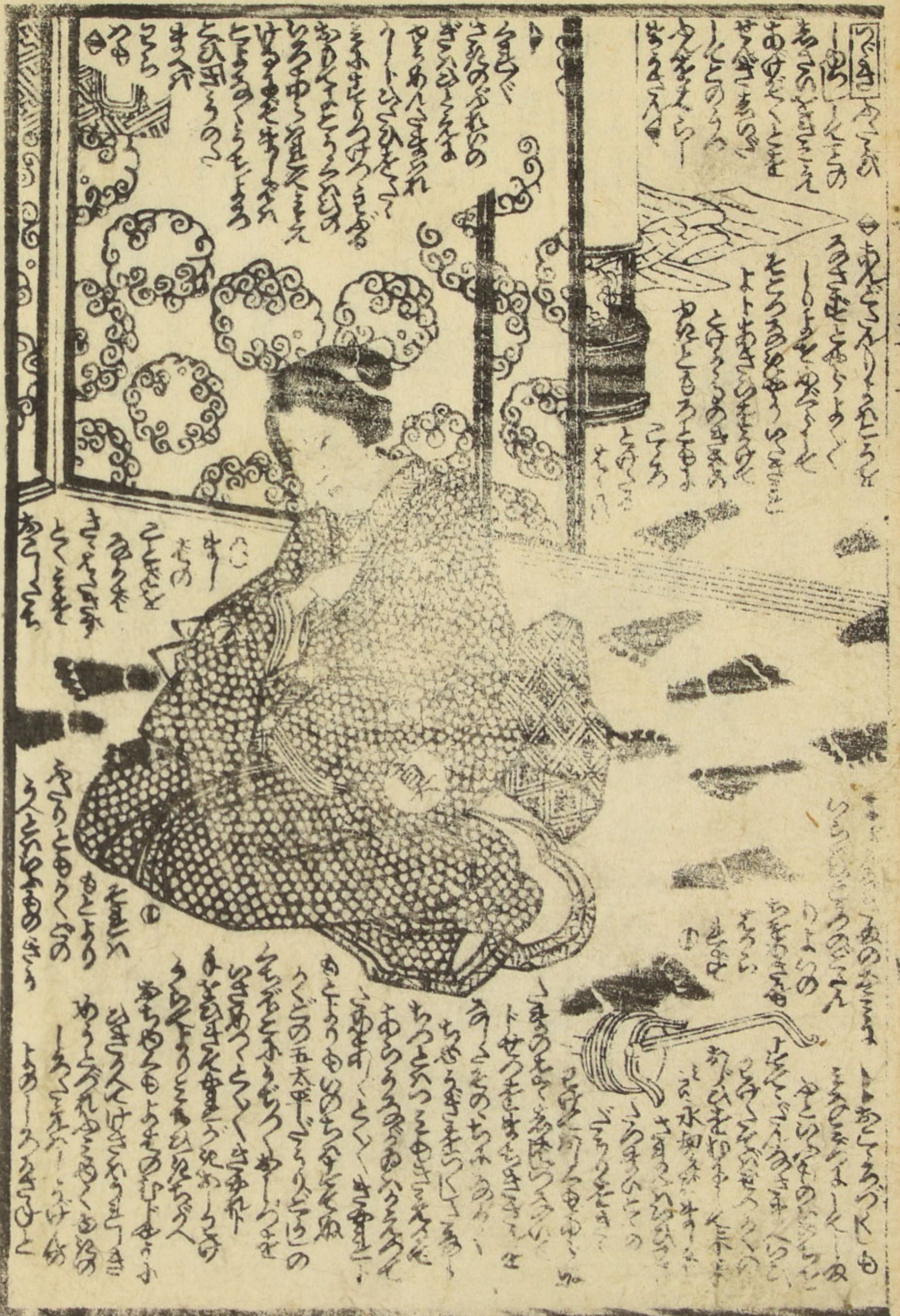


五太平  
始終を  
窃聞

...



...



車十一

五

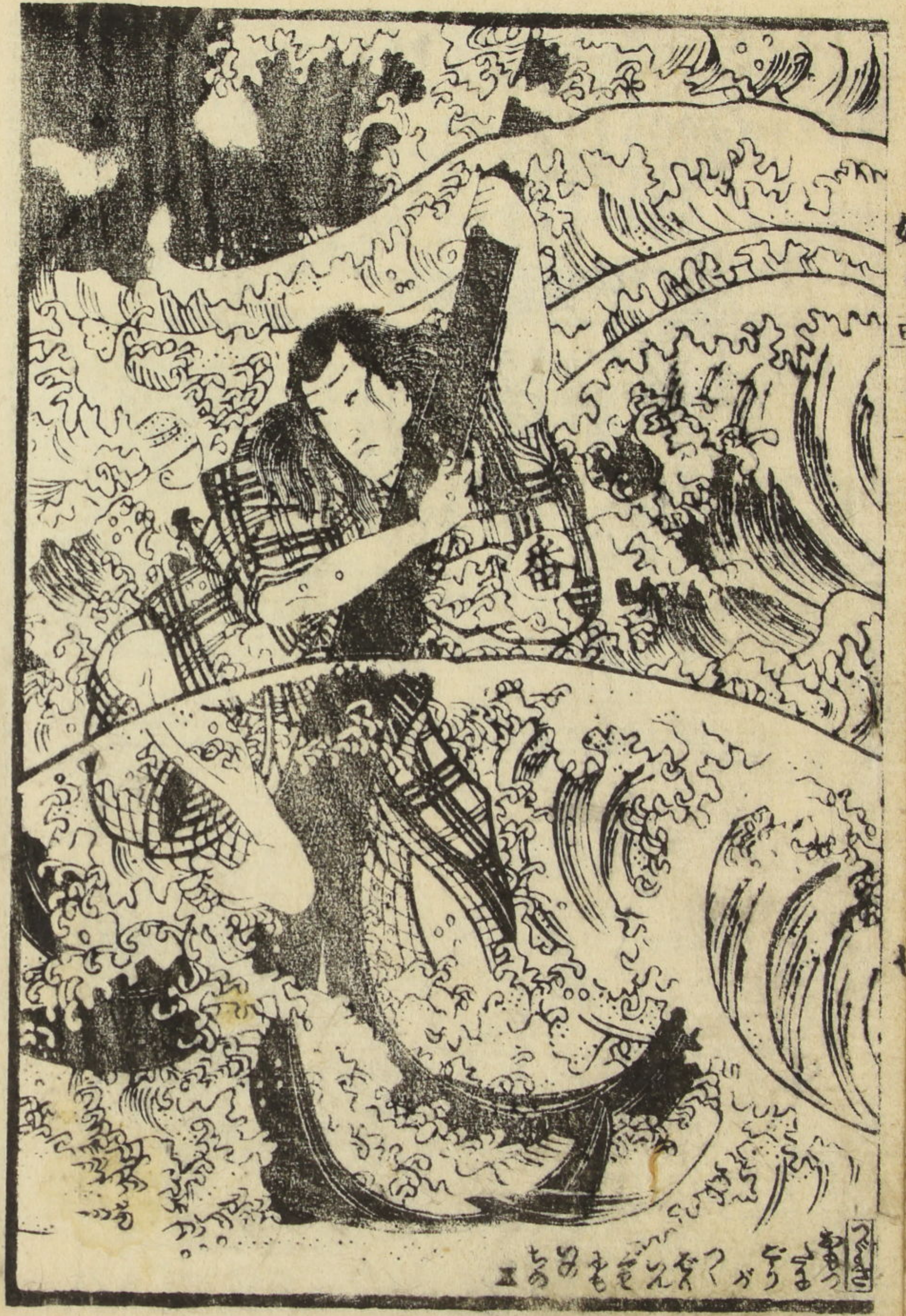


此の物語は...

此の物語は...

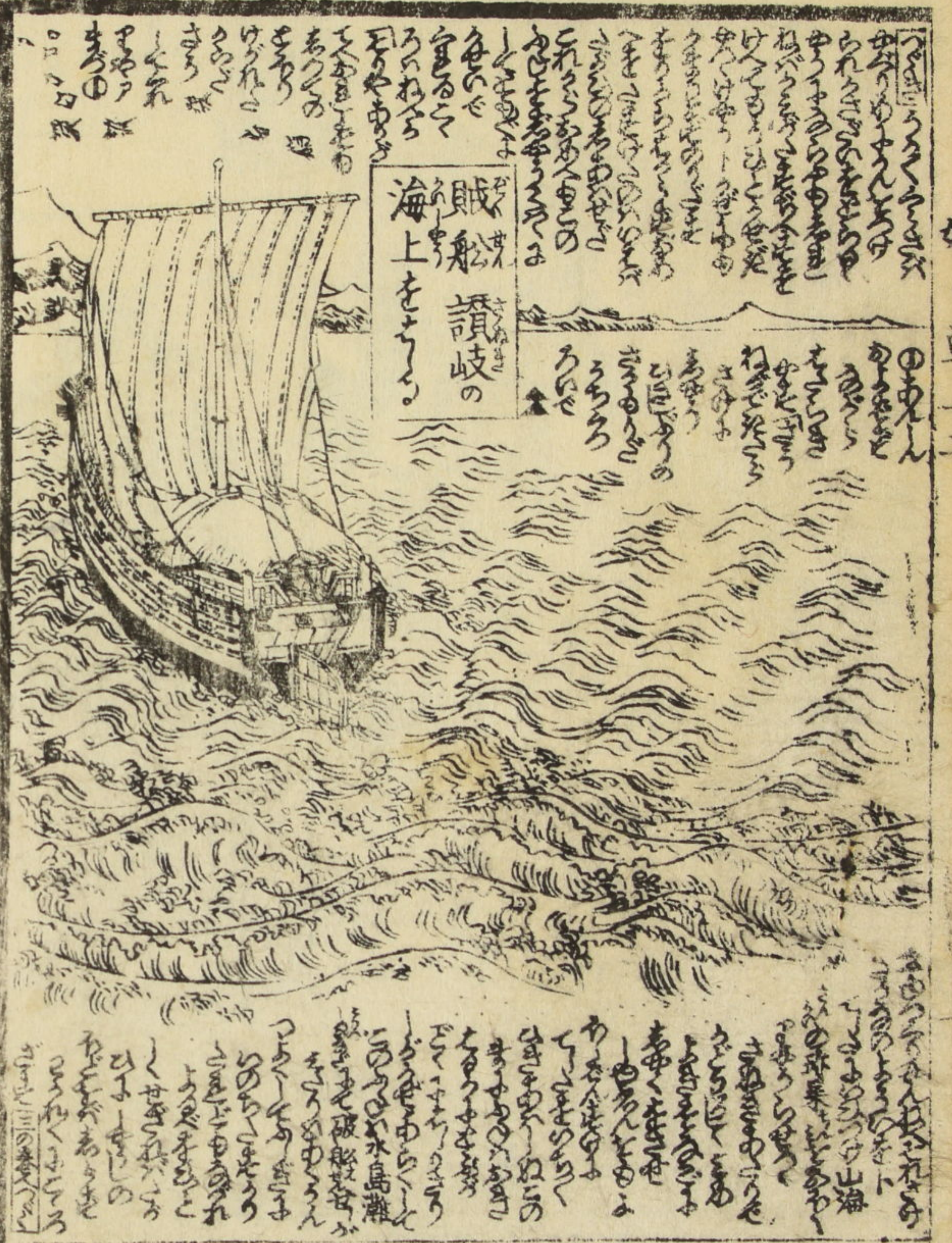












春馬作國貞画

**實母散**  
本家  
 中橋南傳馬町丁日東  
 葉堂孝輔製

**鼠祠通夜譚**  
四編より  
 八編まで  
 出板仕り  
 柳亭種彦作  
 梅蝶樓國貞画

**厚化粧萬年嶋田**  
初編より  
 追々出板  
 爲永春水作  
 梅蝶樓國貞画

この世は普く沙汰せらるる  
 實縁芦田の家小仇做んとて  
 是れ和尚眞の惡業  
 草双紙のあらん

